

福祉と経済		~2017	科目コード	AH1003
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
4	R or SR (講義)	1年以上	小松 洋吉	



※すでに本科目を履修登録している方が対象の科目です（新規履修登録はできません）。

※この科目は2019年度まで開講します。スクーリング受講は2018年度まで、レポート提出、科目修了試験受験は2019年度まで可能です。

科目の概要

■科目の内容

現代の福祉は経済システムの重要な一分野である。国民経済の稼ぎによって、社会保障や福祉の充実をはかるのみではなく、福祉の充実には経済成長の効果がある。そこで、ここでは①まず経済学とはどのような科学であるのか。経済学の考え方について学習する。②国民の幸福度を高めるための政府の役割について学習する。③国民所得水準は我々の生活そのものである。国民所得がどのようなプロセスで決定されるのか。④国民生活の安定をめざして総需要の大きさをコントロールする政策がとられる。それは具体的にどのような内容であるか。以上の点について学習する。

経済学は数字や式、図が多くてむずかしいイメージがあるかもしれませんが。少しの知識を身につけておくだけで、物の見方・考え方が変わってきます。視野も広まることでしょう。受講者はなるべくスクーリングにも参加ください。なおいっそう、福祉と経済のかかわりが理解できるようになることでしょう。楽しく学習できること、また学習の結果、社会の動きがわかり、楽しさが増えることを願っています。

■到達目標

- 1) 福祉と経済がどのように関わっているか、自分の考えを整理し、説明できる。
- 2) 社会保障が行われる根拠として、「分配問題としての市場の失敗」がある。これについて、解説できる。
- 3) 国民所得の決定プロセスについて、すなわち、総供給＝総需要、貯蓄＝投資 で決まるプロセスについて、説明できる。
- 4) 有効需要の原理をふまえて、総需要管理政策について説明できる。とくに、アベノミクスとはどういう政策なのかについて説明できる。
- 5) 「混合経済体制、応能負担、応益負担、現物給付、現金給付」について説明できる。

■教科書

小暮太一著『大学で履修する入門経済学が1日でつかめる本—絶対わかりやすい経済学の教科書』マトマ出版、2011年

(最近の教科書変更時期) 2011年10月

(スクーリング時の教科書) 指定の教科書を持参ください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「社会への関心と理解」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%+スクーリング評価 or 科目修了試験50%

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

現代の福祉は経済システムの重要な役割を担っている。そこでまず、①わが国の経済社会をどのような眼で見たらよいのか。②福祉と経済がどのように関わっているのか。③昨今の社会保障、税、行政、政治の一体改革はわが国の経済状態とどのように関わっているのか。④国民の生活そのものである国民所得はどのようなプロセスで決定されるのか。また、望ましい姿をめざしてどのような政策がとられているのか、等である。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	現代社会の視点	現代の経済社会をどのような眼で見たらよいのか
2	福祉の位置づけ	わが国の経済社会における福祉の位置づけをどう考えるか
3	福祉の流れ	戦後、わが国の福祉はどのような軌跡をたどったのか、それが経済社会の動きとどのように関わっていたのか
4	進む福祉改革	「措置の福祉」と「契約・利用の福祉」は、そのカルチャー、システム、スタイルにおいてどのようにちがうのか
5	これからの福祉	福祉改革の現代的意義、方向性とは何か
6	利用者本位とは	利用者本位の実現に向かって何が必要か
7	分配問題としての市場の失敗	社会保障が行われる経済学的根拠とは何か
8	経済循環	国民経済はどのように循環しているのか
9	総供給と総需要	国民所得はどのようなプロセスで決定されるのか
10	総需要管理政策	望ましい国民所得水準をめざしてどのような政策がとられるのか
11	アベノミクスとは	アベノミクスの現代的意義
12	まとめ	
13	スクーリング試験	

■講義の進め方

講義ノートを用意し、概ねそれにそって進める。

■スクーリング 評価基準

スクーリング試験100%

試験問題は事前に提示します。なお、講義ノートの持込は可とします。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

レポート課題を一読のうえ参加ください。

■その他

スクーリング参加者は履修課題としてすでに提示しているものとは別に、スクーリング時に課題を提示します。レポートの作成はどちらの課題についてでもかまいません。できるだけスクーリングに参加し、レポートを効率よくまとめよう。

レポート学習

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	経済学の考え方～その1 (p.14～30)	経済学の考え方の基本について学び、経済社会における諸問題を考え、解明に役立てる。 キーワード：稀少性、トレード・オフ、機会費用、サンクコスト、限界、インセンティブ	経済学の基本的考え方を学ぶにあたり、左にあげたキーワードについて説明できるようにしておきましょう。それによって、実体経済の姿や諸問題の解明に役立つでしょう。
2	経済学の考え方～その2 (p.30～49)	経済学の考え方の考え方の基本について学び、経済社会における諸問題を考え、解明に役立てる。 キーワード：収益逓減の法則、神の見えざる手、均衡市場の失敗	これまでの学習をふまえて、限られた資源、すなわち、時間やお金をどう配分するのがベストを考え、説明できるようにしましょう。
3	家計の目的 (p.56～66)	家計が自分の生活をよりよいものにするために、お金と時間をどう使えばいいのかについて考えてみましょう。 キーワード：選択、効用、限界効用、代替効果、所得効果、上級財、下級財	キーワードについて説明できるようにしておきましょう。それをふまえて、最適な資源の配分方法を理論的に説明してみましょう。
4	企業の目的 (p.67～86)	企業は利潤の極大化を求めて行動します。そこにどういう理論が働いているのかについて学習してみましょう。 キーワード：完全競争市場、プライステイカー、独占市場、限界収入、限界費用	限界収入＝限界費用にて利潤極大化が達成されるそのプロセスについて説明できるようにしましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
5	政府の目的 (p.87～112)	政府が国全体の幸福度を高めるために何をしなければならないかについて下記のキーワードについて学習しながら考えていきましょう。 キーワード：余剰、消費者余剰、生産者余剰、社会的余剰、資源の再配分、外部性、市場支配力、累進課税制度、最低賃金制度、政府の失敗	あげたキーワードのうち、とくに、資源の再配分と政府の失敗については説明できるようにしておきましょう。
6	需要と供給の話 (p.113～)	需要曲線、供給曲線はどのようにして作られるのかについて理解し、均衡点がどのように動くのかについて学びましょう。 キーワード：需要曲線、供給曲線、所与の価格、供給過剰、需要過剰、均衡点、均衡価格、均衡取引量	需要曲線、供給曲線とは何かを説明し、さらに、両曲線がシフトしたとき均衡点はどのように動くかについて説明できるようにしておきましょう。
7	不完全競争市場の話 (p.129～134)	不完全競争市場とは何か。さらには独占企業の利益最大化について理解しましょう。 キーワード：不完全市場、独占企業、超過利潤、参入阻止価格	不完全競争、独占市場の特性について説明できるようにしておきましょう。独占企業が、利潤最大化のためには、限界収入＝限界費用となるところで生産量を決定します。このプロセスについても説明できるようにしておきましょう。
8	マクロ経済学って何 (p.136～152)	国の経済を全体的（マクロ）にみる目的はどこにあるのかについて理解しましょう。 キーワード：失業率、インフレ率、古典派経済学、ケインズ経済学、価格が伸縮的、短期と長期、有効需要の原理	マクロ経済学の目的は何か、マクロ経済学における家計と企業の関係はどのようなものか、長期と短期の考え方はどう違うのか、さらには、古典派経済学とケインズ経済学のちがいについて整理し、説明できるようにしておきましょう。
9	短期の経済（ケインズ経済学） (p.153～170)	国民所得とは何か、国民所得はどのようなプロセスを経て決定されるのかについて学びましょう。 キーワード：国民所得、三面等価の原則、在庫投資消費、投資、政府支出、輸出	国民所得が、消費＋投資＋政府支出＋輸出で決まるプロセスについて説明してみよう。
10	貨幣の影響 (p.171～182)	貨幣とは何か、貨幣の機能、貨幣需要とは何かについて理解しましょう。 キーワード：貨幣、貨幣需要	貨幣の供給量が利率にどのように影響するのか、その利率が債券価格にどのように影響するのか、利率が投資にどう影響するのかについて説明できるようにしましょう。
11	なぜ国民所得をコントロールするのか (p.183～194)	国民所得をコントロールする総需要管理政策とは何か、また具体的政策手段について学習しましょう。 キーワード：総需要管理政策、金融政策、財政政策、クラウデンクアウト、流動性のわな、量的緩和政策	失業をへらすための総需要管理政策としてどのような政策が考えられるか。さらに、デフレからの脱却政策としてどのような政策が考えられるか、説明してみよう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
12	IS-LM 分析 (p.195~220)	IS 曲線、LM 曲線とは何か、両曲線がどのような性質をもっているか、どのようなときどのように移動するのかについて学習してみましょう。 キーワード：IS 曲線、LM 曲線、IS-LM 曲線の変化、フィリップス曲線	市場には財（生産物）市場、金融（貨幣）市場がある。両市場は互いに影響受け、また、与え合っている。そこで、政府支出を増やしたとき IS 曲線はどうか変化するのか、通貨供給量を増やしたとき LM 曲線はどうか変化するのか、そのプロセスについて説明してみましょう。
13	長期の経済 (p.220~233)	長期の経済では、供給量が需要量を決めるこのプロセスについて理解しましょう。 キーワード：完全雇用、完全雇用国民所得	長期と短期のちがいをふまえ、長期の規模が何で決まるのかについて説明できるようにしましょう。
14	長期の経済における失業 (p.234~238)	長期の経済規模は、どれだけ生産できるかによって変化します。先進国は高い技術水準、高生産性をもっており経済が発展するが、発展途上国では経済発展が容易ではない。このプロセスについて学びましょう。	自然失業率とは何かについて説明できるようにしましょう。
15	長期の経済における政策 (p.239~)	長期の経済において政府はどんなことをすれば、国民が幸福であるのかについて学習しましょう。	マネタリズムの考え方を整理し、説明できるようにしましょう。さらに、ケインズ型の財政政策の有効性についても説明してみましょう。

■レポート課題

1 単位め	経済学の考え方について、次のキーワードを参考に整理してみよう。 (キーワード) 稀少性、トレードオフ、機会費用、神の見えざる手、均衡
2 単位め	経済社会における政府の役割について、次のキーワードを参考に整理してみよう。 (キーワード) 資源の再配分、所得の再配分、市場の失敗、政府の失敗
3 単位め	国民所得決定プロセスについて、次の事柄を参考にまとめてみよう。 総供給＝総需要にて決定する。 総供給とは国内総生産＋輸入である。 総需要とは消費＋投資＋政府支出＋輸出である。
4 単位め	総需要管理政策とは何か。また、財政政策、金融政策、為替政策の手段について整理してみよう。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

テキストの該当ページについて明示しています。参照のうえ取り組んでみてください。またむずかしくて整理ができそうにないという方は、キーワードについてゆっくり理解を深めてまとめてみてください。新聞・ニュース等経済社会の話題に関心を寄せつつ課題に取り組んでみましょう。前述しましたが、スクーリング参加によって課題の取り組みが容易になり、より効果があがることを約束しておきます。

1 単位め アドバイス

テキスト pp.14~48、特に pp.17~20、pp.35~38を学習のうえでまとめてみましょう。経済学の理論体系はたしかに膨大です。しかしむずかしく考える必要は一切ありません。経済学は人々の幸福を追求する科学です。この分野を少しかじっておくだけで、物の見方・考え方に幅が生まれるでしょう。世の中の仕組みや動きがわかるようになるはずですよ。テキストをゆっくり読んでまとめてみてください。むずかしいと思う方は、キーワードだけでも説明してください。

2 単位め アドバイス

テキスト pp.87~112を参考にしてください。政府が国民の暮らしの満足度を高める役割を担っていることはいまでもありません。たとえば、環境、教育、社会保障、安全、国際平和等々。そのために、税の徴収、国債の発行、財政投融资（例：新幹線）、サービスの提供、ODAなどを政府が行っています。政府の役割を課題に示したキーワードを中心に学習しつつ、まとめてみてください。むずかしいと思う方は、キーワードについての説明をまとめていただいても結構です。

3 単位め アドバイス

テキスト pp.139~170、特に pp.158~170を参考にしてください。国民所得水準は我々の生活水準そのものです。そればかりか、海外にも影響を及ぼします。たとえば、わが国が好況で国民所得水準が高ければ、海外にもたくさんの援助が可能になります。また海外からの輸入も拡大し、海外の成長に寄与できます。ここでは、次の用語も参考にしながらまとめてみてください。

(用語) 家計と企業、貯蓄と投資、総供給と総需要、有効需要の原理、消費、投資、政府支出、輸入と輸出

4 単位め アドバイス

テキスト pp.183~194を参考にしてください。総需要管理政策について学習し、その上で、財政政策、金融政策の具体的手段について学習してみましょう。たとえば、不況下にあるとき、財政政策として減税をする、金融政策として量的緩和策をとるなど、どのような状態にあるときどのような政策が有効かについて考えてみましょう。

※なお、特例としてスクーリング受講者のレポート課題はスクーリング時に指示された別の課題を4つ提出でも結構です。できるだけ、スクーリングにご参加ください。お目にかかれずことを楽しみにしています。

科目修了試験

■評価基準

- 1) 経済学の基本的考え方を理解したうえでまとめること。
- 2) 国民経済の循環と国民所得の決定メカニズムについて十分認識していること。
- 3) そのうえで、経済政策が行われる理論的根拠について理解していること。